

# みさと 市議会だより



No. 188

2022年1月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関



新春に花ほころぶ  
(ピアラシティ中央公園)

## 主な内容 令和3年12月定例会

- ・ 論点1「屋外広告物の安全管理を強化」・・・2
- ・ 論点2「ピアラシティ交流センターの指定管理者を継続」・・・3
- ・ 市政に対する一般質問・・・4
- ・ 12月定例会提出議案とその結果・・・10
- ・ 議会あれこれ・・・11
- ・ 読者の声・・・12

論点

1

12月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

# 屋外広告物の安全管理を強化

12月定例会

11/29~12/10

12月定例会には、市長から12議案が提出され、原案通り可決しました。

議案第74号 三郷市屋外広告物条例の一部を改正する条例

**＜内容＞** 屋外広告物の安全管理の強化を目的に、設置者等に定期的な点検を義務づけるものです。また、公共案内板などに広告を掲出する際の規制の運用緩和（弾力化）を新たに定めるものです。  
▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。  
**問** 条例では安全管理の強化として「定期的な点検」を規定しているが、どのようなことか。  
**答** 条例における許可対象の物件では、3年ごとに更新手続きが必要になるため、最長でも3年サイクルの点検が義務づけられる。さまざまな物件に応じて、最適な点検サイクルがあると考えているため、管理者を中心に適正な安全管理がなされるよう、今後周知に努めていく。

**問** 今回の条例改正の内容に三郷市のオリジナルの部分はあるか。  
**答** 三郷市屋外広告物条例は市の独自条例となるが、基本は県条例をベースにしている。ただし国のガイドラインに示された規制運用の弾力化については、埼玉県では対応していないが、市では弾力化がもたらすメリットを捉え対応することとした。

**問** 禁止地域において、公共案内板のようなデジタルサイネージに一般広告物の表示を許可するに際して留意される点はあるか。  
**答** 条例による許可手続きに際し、公益性を有する物件に表示するに「ふさわしい内容」の広告物であることを事前に協定等で確認するような形を想定している。  
**最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。続いて討論・採決の結果、全議員賛成で可決しました。**

論点  
2

# ピアラシティ交流センターと 中央公園の指定管理者を継続

議案第69号 指定管理者の  
指定について

〔内容〕ピアラシティ中央公園及び市立ピアラシティ交流センターを管理運営する指定管理者を指定するものです。  
▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

**問** 指定管理者選定の経緯は。

**答** 7月に指定管理者の公募、ピアラシティ交流センターでの現場説明会を経て、申請受付をしたところ、1団体から申請書及び事業提案書が提出された。その後、10月に開催した選定委員会で審査を行い、候補者を決定した。

**問** 審査では地域に根差した施設運営が評価されたとのことだが、具体的な内容は。

**答** 自主イベントの一例として、プリザーブドフラワー教室、料理教室、屋外の公園部分を利用した芝生でのフラダンスなどを実施した。このほか、ポタジェ農園収穫体験事業による食育の提供や、近隣4町会の親睦イベントを開催した。

指定管理者	日比谷花壇みさと街づくり共同事業体
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

## 指定管理者制度とは

多様化する市民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用して、住民サービスの向上を図るための制度です。

管理者には、株式会社や社会福祉法人やNPO法人など、様々な団体がなることができます。また、指定にあたっては、期間を定めよう、議会の議決が必要です。



委員会の討論では、「地域の方々をはじめ利用者から満足度の高い評価があることから賛成する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。続いて討論・採決の結果、全議員賛成で可決しました。

市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、7月に市議会議員選挙が実施され、新たな三郷市議会議員によるスタートを切りました。市民の皆様の期待に応えられるよう議員一同、全力で取り組んでまいります。

さて、本年は市制施行50周年でございます。発展を続けている三郷市が未来に向けさらなる飛躍を遂げられるよう、二元代表制の一翼を担う市議会が議事機関としての役割と機能を果たし、市民の皆様とともに考え行動し、歩んでまいりたいと考えておりますので、一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

年頭にあたり、本年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



三郷市議会 議長  
武居 弘治



新春のご挨拶を  
申し上げます



市政に対する

## 一般質問

— 質問議員 —

西村 寿美枝	加藤 英泉	鳴海 和美	深川 智加
齊藤 幹郎	工藤 智加子	渡邊 雅人	寺沢 美紗
柳瀬 勝彦	佐藤 智仁	一色 雄生	佐々木 修

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

### 人に優しいデジタル化 スマホ教室について



**議員** 行政手続きのオンライン化で、インターネットを利用して様々な手続きができるようになり、市民の利便性向上が進められる一方、スマートフォンなどのデジタル機器に不慣れな高齢者等への支援が課題となっている。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」が必要である。デジタル弱者を置き去りにしない支援として、国のデジタル活用支援推進事業で「スマホ教室」を市の公共施設で開催することについて伺う。

**生涯学習部長** 市では、デジタル機器に関する市民の学習意識の高まりに比べ、NPO法人との協働による「パソコン講座」を実施している。また、デジタル弱者のことが情報格差により不利益を被ることのないように、まずは市内公共施設

において、参加しやすく内容も分かりやすいスマートフォン講座の開催に向けた検討を進めるとともに、携帯電話会社等の民間事業者との連携も模索している。

**その他の質問** 健康推進問題。

### 行財政改革

**議員** ①スポーツ関係が教育委員会を離れ、国保年金などを担当する部署と合体し、スポーツ健康部となったが、部署の垣根を越えて、学校教育部に入り込んで、スポーツ教育やスポーツ振興ができるのか。ガチガチの縦割り行政の中で、子どもたちの犠牲が懸念される。役所の都合でなく、青少年の健全育成のためにもスポーツ関係は教育委員会傘下に置くことが自然である。②財政改革の第一歩、指定管理料、委託料等が高すぎる。その代表である「おどりプラザ」の指定管理委託料が年間1億1000万円、365日で割ると1日30万円である。「ピアラシティ交流センター」は5334万円で1日15万円と高すぎる。日本大学の理事長事件と同じようなことが三郷市で



運動拠点施設のひとつ  
三郷市総合体育館

も起こりかねず危惧される。

**市長** ①スポーツ健康部は、議会の同意をいただき令和2年度に設置したものである。また、第5次三郷市総合計画においてもスポーツウェルネスの推進を施策として掲げており、これらを実現するため組織として位置づけている。

**財務部長** ②指定管理料や委託料は、最低賃金の上昇などにより経費の増加を抑えることが非常に厳しい状況である。業務委託にあたっては内容を精査し、細かく仕様を定め金額の設定、業者の選定等、適正な契約事務を行っており、危惧されるようなことは全くない。

**その他の質問** マイナンバーカードなど。

## 不登校支援(起立性調節障害・HSC)について

**議員** 「起立性調節障害」とは自律神経の機能が低下して、起き上がろうとしたりするとめまいや動悸、失神、吐き気、頭痛、腹痛などの症状が出る病気を言い、思春期に多く発症する。午前中に調子が悪く午後から夜には調子が良くなるため病状が理解されにくい。また、「HSC(ハイリーセンシティブチャイルド)」とは、生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質を持った人という意味で、病気ではなく全人口の15%から20%が生まれつき持っている氣質のことを意味する。感受性が強いため生きづらさを感じていると推察される。どちらも不登校の原因となっていることが危惧されている。先生方の理解促進の場としての研修会等の対応や学校現場での具体的な支援は。



**学校教育部長** 現在、起立性調節障害の児童生徒には、保護者と連携して一人ひとりの心身の状態に合わせ、保健室での休養や登校時刻に配慮するなど個別の支援を行っている。また、HSCに対しては学校内で共通理解を図った上で、敏感であるなどを長所として捉えて接するなど、個に応じた対応をしている。今後も教育相談研修等を通してそれぞれの特徴や関わり方、必要な支援について教職員の理解を深め、より適切な対応に努めていく。

**その他の質問** 子育て支援問題など。

## 高すぎる国民健康保険税 市独自の軽減で子育て支援を

**議員** 高すぎる国保税に対して、国は来年度から未就学児に限り、均等割を半額に軽減する方針を決めた。

①市の対応はどのようなか。また、世帯人数が増えるほど国保税が高くなる仕組みである均等割の軽減に足を踏み出したことは一歩前進だが、対象が未就学児に留まっている。収入のない子どもからも均等割を求めることは不合理であり、子育て支援に逆行していると言わざるを得ない。市独自で高校生まで均等割の軽減を実施すべきだが、市長の考えは。②その場合の予算額は。

**市長** ①子どもにかかる均等割軽減は、子育て世帯の負担軽減を図るため、制度を創設するとともに必要な財源を確保するよう、これまで全国市長会等を通して国に要望してきた。本制度の対象者の拡充については引き続き市長会等を通して要望し、独自支援についても国の動向を見守っていく。

## スポーツ健康部長

①令和4年度

から未就学児の均等割軽減を実施するため、地方税法等の一部改正が行われ、それに伴い市の条例も改正する。②仮に7〜18歳までの子どもを対象に加え、均等割の5割を軽減した場合、追加となる対象者は令和3年8月末時点で約1000世帯、約1800名おり、減免額は約3000万円となる。

**その他の質問** 学校統合など。

## 水道事業の現状と対策

**議員** 日本の水道普及率は98%を超え、市民生活や社会経済活動に不可欠の重要なライフラインである。

災害に備え、現在の市内配水管路の耐震化状況や老朽化した配水管路の対策方針と、その実行にあたって財源確保の取組は。

## 水道部長

令和3年3月末現在で

市内配水管の全延長の約40%が耐震化されている。今後も三郷市水道事業基本計画に基づき、耐震管への更新を継続して実施していく。とくに地域防災計画に基づく重要給水施設への配水管路については、積極的に進める。また、令和2年度決算では、一層の経費削減に努めたことや、分担金の収入増、国庫補助金の活用により黒字が維持できた。令和3年度は、更なるコスト削減はもとより、施設の長寿命化やダウンサイジング、適正な料金体系の検討に取り組み、持続可能な水道事業運営が実現できるよう努める。



三郷市北部浄水場

## 温室効果ガス削減の積極的な取組を



**議員** 政府は2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を宣言した。また、国の第6次エネルギー基本計画では削減目標を2013年度比で46%と打ち出したものの、国際研究機関は「46%のアプローチでは最高3℃上昇する」と目標の不十分さを批判している。国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書によると、すでに気温上昇は1.2℃を超え、まさに気候危機への対応は喫緊の課題である。本市では、今年度から10年の計画期間となる環境基本計画を策定したが、温室効果ガスの削減目標は、2030年度までに26%と目標値が低い。また、

既存公共施設に市民共同の太陽光発電や官民連携による新電力事業等、行政主導の取組を実施するべきではないか。市の見解を。

**市民経済部長** 地域新電力事業は、脱炭素社会の実現に効果的な取組のひとつであることから、今後先進自治体を調査研究しつつ、埼玉県東南部地域5市1町における広域的な施策として検討を進めていく。また、政府の地域脱炭素ロードマップでは「2040年までに、設置可能な公共施設などの建築物等に太陽光パネルが100%導入されていることを目指す」としていることから、国の動向や補助制度に注視し、取り組んでいく。

**その他の質問** 行財政問題など。

## フードパントリー

フーズン

**議員** 現在本市では、1団体により「子育て中で食品支援が必要な家庭」を対象としたフードパントリーが実施されている。埼玉県やNPO法人埼玉フードパントリーネットワークのHPでは、フードパントリーとは「誰もが食に困ったときに無償で食の支援が受けられる場所

や活動」であると示されている。開設支援及び運営支援の充実を図り、「食品を保管、提供するための場所の確保」などの課題解決を達成することで、市内におけるフードパントリーの更なる充実を行政側からもサポートしていくことを求める。

**子ども未来部長** 実際に市内で活動されている団体からは、場所の確保をはじめ運搬するための車両など、さまざまな課題があると伺っている。まずは子どもの居場所としてのフードパントリーを支援していくため、関係団体と連携を深めサポートを続けていく。

**その他の質問** 福祉施策。

## (仮称)多世代交流複合施設を活用したみさと団地の再生を

**議員** (仮称)多世代交流複合施設は、北公民館・北児童館施設の老朽化、周辺公共施設の維持コストの増加、旧たちばな保育所跡地の利活用の課題を背景とし、現在整備が進んでいる。近隣には金融機関や教育機関、医療機関やショッピング施設が集結し、あらゆる世代にとって利便性が良く魅力溢れる地域である。一方、少子高齢化が進み、かつてにぎ



みさと団地中央商店街

わった商店街では閉店する店舗が増加している。商店街を含みみさと団地の活性化は北部地域全体の活性化にもつながるものと考ええる。UR都市再生機構や地域住民と連携し、商店街の再生やコミュニティの醸成を図り、北部地域の課題解決に取り組んではどうか。

**市民経済部長** 当該施設は、様々な世代の方々が気軽に立ち寄れる地域の交流拠点として、高齢者の社会的孤立の解消や子育て支援にもつながることを期待している。今後、近隣の児童生徒、学生、周辺地域の町会・自治会のほか、サークルの方々などを中心に関係部署やURと適宜連携して地域コミュニティを深められるよう、様々な分野の担い手育成に努めていく。

**その他の質問** 市民の居場所。

## 児童養護施設を退所する 人たちのサポートについて

**議員**

①自立の準備ができていない状態で児童養護施設を退所した子どもの場合、20歳未満であれば、自立のためのサポートを受けられる「自立援助ホーム」に入居することができ、自分で寮費を稼ぐために働かないといけない。社会で働くことが難しい「卒園者」へのサポートはどうなるか。②20歳以上は自立援助ホームの対象外になるので、生活保護につなげたりすることになるが、それでは基本的な自立のサポートにはならない。現在市では、生活保護受給者への自立支援をどのように行っているのか。

**福祉部長**

①児童養護施設の退所者については、相談窓口としてふく



ふくし総合相談室の窓口

し総合相談室がある。家計相談や就労に関する相談をはじめ、生活困窮者支援や障がい福祉サービスなどの各種相談を受け、支援を行っている。②生活保護受給者への自立支援については、本人の状況に応じて段階を踏んで行う。疾病・けが等をしている場合には、その治療に専念してもらい、治療後に就労支援等を行い、自立に向けた働きかけをしていく。その際、生業扶助として技能習得のための講習等の受講など、さまざまな支援を行っている。

**その他の質問**

健康問題など。

## 廃用症候群について

**議員**

廃用症候群とは、病気やけがで安静にすることで、体を動かす時間・強さが減り、体や精神に様々な不都合な変化が起こった状態をいう。寝て過ごす時間が長くなったり、骨折等で体の一部を動かせないよって起こる。筋力や臓器の機能が落ちてくる高年齢者でとくに起こりやすく、栄養不足だとさらに進行しやすい。また、介護者が足りない場合など、その人を取り巻く環境が影

響することもあ。コロナ禍でオンライン上の活動が広がる中、廃用症候群が心配される人々もいるため、高齢者やその補助者にも周知を図る必要性があると考えるが、市としての対応は。

**福祉部長**

コロナ禍で外出の自粛や体を動かす機会が減っていることに伴い、高齢者の筋肉量低下や認知機能低下等の廃用症候群とみられる健康二次被害が懸念される。市では、自宅でできる体操や運動について、ホームページやポкетトミさと、フェイスブック、ツイッターなどで紹介したり、シルバー元気塾というコースの参加者にチラシを配布しており、今後も引き続き周知啓発に努めていく。

**その他の質問**

福祉問題。

## 高齢者の

## 運転免許返納について

**議員**

高齢者の交通事故について、近年頻繁にニュースで報道されている。①市議会でも過去に何度か一般質問で取りあげられているが、三郷市の高齢者の運転免許返納はどれくらい進んでいるのか、現状は。②高齢者が免許を返納した際の対

応として、他市では、県のシルバー・サポーター制度を利用したタクシー運賃の割引などがあるが、三郷市での現在の取り組みと今後の方向性は。

**まちづくり推進部長**

①三郷市の免許返納者数は、令和元年で672人、令和2年で679人、令和3年は1月から10月までで548人である。警察庁の統計によると、埼玉県全体で返納率は20.4%となっている。②現在、高齢者が自主的に運転免許を返納した際には、埼玉県警察のシルバー・サポーター制度を利用し、物品代金の割引等のサービスが受けられる。今後は、バス・タクシーなどの割引制度を含め、公共交通事業者や関連機関の代表者で構成される、三郷市地域公共交通活性化協議会で検討していく。

**その他の質問**

IT化について。



シルバー・サポーター制度の案内チラシ



三郷市PR大使のメンバー（三郷市HPより）

**議員** 三郷市では、6組7名のPR大使に、広報みさとや様々なイベントを通じて三郷市の情報や魅力発信をしてもらっている。市内には、スポーツや文化芸術等、様々な分野で活躍する学生や若い世代の力が多くいる。そういったかたを任期付でアンバサダーに任命することにより、SNSやイベントでの広報活動で三郷市の魅力を発信してもらえる。また、任命した若い世代のアンバサダーを三郷市全体で応援することができるれば、本人にとって

市民を巻き込んだまちの活性化について

その他の質問 安全対策など。

**総務部長** 情報発信については、近年では「身近な魅力を身近な人が発信することで、より親近感をもってその情報に接することができる」といった傾向も見受けられ、地域の魅力拡散の有効な手法のひとつであると認識している。若い世代の情報発信力の高さについても十分に認識している一方、学業との兼ね合いなど様々な課題もあるので、他市の取り組みなどを参考に検討を進めていく。

も市民にとっても幸せなことである。このように市と市民が一緒にまちを盛り上げていこうとする取組は今後更なるまちの活性化につながっていくのではないかと。

議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお12月定例会の会議録は2月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

市議会って何？



このあいだ、議会傍聴に行ってきたんだ。手続きも簡単だったよ。

市長さんが条例などの議案を提案して、議会で決定しているのね。



議員さんたちが、市長さんに質問したり、たくさん意見を伝えていたよ。

市のホームページを見ると、国や政府にも意見を伝えているみたいだね。



自分たちが選挙で選んだ議員さんたちが、どんな仕事をしているか一番わかる方法が議会傍聴だと思うよ。

今度3月にも議会があるから、私も傍聴に行ってみよう。

各定例会の主な審議内容

3月定例会
当初予算、補正予算、条例
6月定例会
補正予算、条例
9月定例会
決算、補正予算、条例
12月定例会
補正予算、条例

※ほかにも契約締結や委員の選任（人事案件）等が審議されています。





# 議会を傍聴しませんか

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴を試みませんか。

※傍聴の際に手話通訳、または要約筆記を希望される場合は、傍聴希望日のおおむね14日前に議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768



## ..... 傍聴のルール .....

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴をされる場合は、入場時に手指消毒及びマスクの着用をお願いいたします。また、体調のすぐれないかた(せき・発熱など)は、傍聴をお控えください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

## ..... 傍聴 Q&A .....

### Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

### Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

### Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

### Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース(3席)があります。

## 令和4年3月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
2/28	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
3/1	火	
3/4	金	
3/7	月	
3/8	火	委員会
3/9	水	
3/15	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
3/16	水	
3/17	木	
3/18	金	

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の3月定例会は2月28日(月)午前10時に開会予定です。

# 12月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対

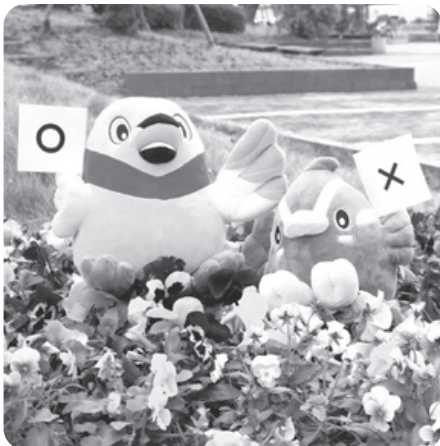
号	件名	結果	政志会	21世紀	公明党	共産党	ネットワーク	無所属
69	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○
70	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
71	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
72	三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
73	三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>	○	○
74	三郷市屋外広告物条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
75	令和3年度三郷市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○
76	令和3年度三郷市上水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○
77	令和3年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
78	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
79	令和3年度三郷市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○
80	令和3年度三郷市一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○

議案

※このほか報告4件がありました。

## 陳情・要望を受理

12月定例会では陳情1件、要望1件を受理しました。



会派名 (人数)	所属議員名
政志会 (9)	武居 弘治 (議長)、篠田 正巳、佐藤 裕之、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ (5)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人
公明党 (5)	酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 陸郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党 (3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい (1)	市川 文雄
無所属 (1)	一色 雄生

※議長は採決に加わっていません。

議会あれこれ

◆ 新型コロナウイルス感染症対策対応に係る申入書 ◆

「議会費の削減と感染症対策の拡充を要望」

11月29日、三郷市議会は新型コロナウイルス感染症への対応へ全力で協力を誓うとともに、市が実施する対策の財源の一助となるよう、令和3年度における議会調査事業等の議会費の一部について減額することを全議員一致で決定しました。これを受けて正副議長が、市長に対し、市議会の意思を汲み、深刻な影響を被っている市民及び事業者の皆さまの不安を払拭するための対策に充ててもらおうよう申し入れを行いました。



▲申入書を市長へ

議案第80号「三郷市一般会計補正予算（第8号）」可決！

一般会計補正予算（第8号）は、議会からの申入書の趣旨を踏まえ、議会費のうち、「議会調査事業」の全額、及び「議員人件費」の一部、合わせて971万円を減額し、商工費の「飲食補助クーポン券事業」に充当するものです。2回のワクチン接種を終了したかたに送付されるクーポン券に係る財源として活用されます。

12月10日に上程後、即日可決し、議会の申し入れがすぐに予算化されました。



三郷南部地域拠点  
整備対策特別委員会

11月18日、三郷南部地域拠点整備対策特別委員会を開催しました。

委員会では「南部地域拠点整備事業の現状と今後」について報告を受けました。

＜主な内容＞

- 都市計画道路草加三郷線の延伸など
- 整備予定地Ⅱの導入機能変更など

人事案件

公平委員会委員の選任に同意しました。

馬場 郁夫 氏（花和田）

▼公平委員会とは

地方公務員法に基づき、職員の権利・利益を保護し、その身分を保障するため、条例により公平委員会が設置されています。

▼公平委員会の委員

公平委員会は、3人の委員をもって組織されています。委員は、人格が高潔で、地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務の処理に理解があり、かつ人事行政に関し識見を有する者のうちから、議会の同意を得て市長が選任します。なお、委員の任期は4年です。



### 三郷市を若者に人気なまちへ

会社員 20代 彦成4丁目在住

三郷市は急速に少子高齢化が進んでいます。新三郷駅にはIKEA、コストコ、ららぽーとなど若者に人気な商業施設があるので、遊びに来られるかたはいますが、なかなか三郷に住まわれるかたはいない印象です。

もっと三郷市を若者の活気あふれるまちにするには、駅付近だけではなく、あちらこちらに流行を取り入れた、若者が好むスポットをつくる必要があるのではないかと考えています。

また、若者が住みやすい価格と環境の住宅が増えると、より良いのではないかと思います。

### 「フードパントリー」をご存じですか？

会社員 50代 三郷1丁目在住

企業や地域の農家さんなどから寄贈いただいた食品を保管し、ひとり親世帯などの困っている家庭に無料で配付する活動です。また、身近な相談窓口として寄り添い、行政などへ繋げることを目的としています。

三郷市内の子ども食堂運営団体が協力し合い、令和2年6月からフードパントリーを開始しました。「支援者の顔が見える地産地消」を目指してたくさんの方々にご協力いただいています。

当初約60世帯だった登録者数も4倍以上になり、食品や保管場所の不足や運搬などの課題も出てきています。活動の継続に行政や、市民のみなさんのご理解と協力をお願いします。



丑寅生まれの守り本尊に初詣 (彦倉虚空蔵尊)

## 本年もよろしくお願いたします



(議席順)

岡 菊 篠 佐 酒 鈴 市 加 柳 佐 田 西 鳴 工 佐 深 渡 一 字 篠 齊 寺 佐 武  
庭 名 田 藤 卷 木 川 藤 瀬 々 上 村 海 藤 藤 川 邊 色 治 田 藤 沢 藤 居  
正 裕 宗 深 文 英 勝 広 寿 和 智 智 智 雅 雄 由 隆 幹 美 睦 弘  
明 裕 巳 之 一 郎 雄 泉 彦 修 子 枝 美 加 子 仁 加 人 生 子 彦 郎 紗 郎 治

議 副 議  
員 議 長  
長

新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。市民の皆様に対して、本紙上をもって年頭のご挨拶とさせていただきます。

